

授業改善推進プラン〈学年別〉

学校名 練馬区立八坂中学校

3年	課題分析	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を意欲的に取り組んでいる生徒が多いが、文章を読むことに対して苦手意識をもっている生徒も多く、総じて国語の教科自体を苦手とする生徒の割合は、都の割合より多い。 ・書字においてもバランスのとれていない生徒が少なくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業では速く読む目のトレーニング(スピード音読)を継続して行う。読むことの抵抗をなくすことが教科の苦手意識を緩和すると考える。 ・漢字学習のドリルを学期に複数回提出させ、確認することで、バランスの良い字を意識させ、日常の書字への定着を図る。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・「関心意欲」を持って、調べ方を考え＝「思考」、まとめる＝「技能」、そして「知識」を増やす力をつける。 ・小学校段階における、社会事象に関する基礎知識が不足していたり、偏りがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動等による話し合い活動を取り入れ、課題解決型学習に取り組む。 ・常に年表や時代の流れを意識できる資料等を明示し、時代の流れを意識させる。特に近現代の部分の整理を心がける。 ・政治経済の様々な事象について、時事的な事柄や統計資料を活用する。授業の中で、資料を読み取り、そこから考えられる問題点を見つけ出し、解決策を考えさせる機会を増やす。 ・小テスト、単元テストの実施
数学	<ul style="list-style-type: none"> 【学力調査】 ・全国学力調査の結果では、平均正答数は全国平均が7.2問であるのに対し、本校は5.9問と下回る結果となっている。記述式の問題における無回答の割合が5割に近い数字となっており、問題に取り組む姿勢について課題がある現状である。 【知識・技能】 ・基礎的な概念については定着するが、それを別の単元や問題に活用していくことに課題がある。 ・計算問題については、複雑な計算に対応できるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・文章題などにおいて課題を読み取ることや、筋道を立てて取り組もうとすることに課題がある。 【主体的に学ぶ力、人間性等】 ・問題に対して、解いて終わりにする生徒が多い現状である。振り返りを行い、繰り返し取り組んでいくような習慣をつけていく必要がある。 ・学習状況調査では、問題の解き方がわからないときに、あきらめてしまう傾向が強いと結果が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・理解】 ・授業で既習の単元なども、復習に取り入れる機会を設ける。 ・計算演習の時間を設け、難易度別に様々な問題に取り組めるように教材を工夫する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・授業において見通しを持った授業を行い、学習内容が何に役立つのかを実感させる。 【主体的に学ぶ力、人間性等】 ・発展的な問題を授業内で取り組み、数学の良さや粘り強く取り組むことの必要性を実感させる指導を行う。 ・グループなどでの話し合いの時間を設け、話し合いの中で、問題解決を図る力を育成する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・【学力調査】全国学力調査の結果をみると、全国平均正答率より1ポイント低く東京都平均正答率より1.6ポイント低かった。 ・学習に対して後ろ向きな生徒はほとんどおらず、今行っている授業内容をその場では理解している生徒が多い。しかし、繰り返し復習を行う習慣が身につけておらず、基礎基本の習得が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・科学的な思考力を育てるため、授業中に課題を出し、自分で考える時間を設けるようにする。 ・問題演習をこまめに行い内容の定着を促す。 ・1、2年の内容に関連する場面が出てきたときはその都度復習を行う。 ・3年の学習内容が終わった段階で、1、2年の復習にも取り組む。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 【思考力・判断力・表現力】 ・自分の考えを、英語を使い表現する力が不足している生徒が多くみられる。 【知識】【理解】 ・1,2年の既習事項が定着していない生徒が多数いる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【基礎力の定着】 ・既習事項について意識させ、音読練習を中心に、基本文の定着を図る。また引き続き基本文の小テストを実施し、基礎力の定着につなげる。
美術	<p>これまでに学んだ学習を総括しながら、美術文化への興味と創造的な能力を更に高め、生涯に渡り美術を愛好する心情と心豊かな生活ができる態度を養う。また、卒業後の進路を踏まえ、授業規律も徹底する。</p>	<p>わかりやすく、誰でもできる内容からスタートさせ、スモールステップで学習を進める。作品制作では、完成後十分な鑑賞とプレゼンテーションの時間を確保する。常に授業規律が守られるように指導を継続していく。</p>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・歌うことに慣れておらず、積極的に声を出すことに課題がある。 ・楽曲に対して、甘受することはできるが、そこからどう表現につなげていくかという学習に慣れておらず、表現に生かし切れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の合唱部や卒業生など、身近な中学生の歌声を紹介し、イメージをもたせる。少しの伸びを認め、自信をつけさせる。 ・曲の雰囲気や歌詞の内容から、作詞者や作曲者のメッセージを考え、自分はどう感じ、強弱や声の出し方をどうしていくと良いのか考えさせる。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・個々でみると能力が高い生徒が多くいるが、授業全体の場になると、周りを伺い、合わせてしまったり流されてしまう人もいる。そのため、取り組みに真剣さが欠けていたり、できていない課題ができていないと錯覚をしている生徒もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習を積極的に行い、お互いに技能を見せ合い、タブレット機器を使用し動画や写真を撮り合うなど、自身の動きを確認しあえる学習を行う。
技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> 【知識の充実】(技術) ・コンピュータを用いる授業では、生徒の能力や知識の差が大きく、コンピュータの基礎・基本的な扱いから指導していくことが必要である。 【知識・技能の習得】(家庭) ・自ら工夫し、創造していく力を高めるよう促していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 【ネットワークの活用と知識の充実】(技術) ・興味関心の高いネットワークを題材にする。生活や社会を支える情報技術やコンピュータのプログラムなども指導していく。興味関心から知識の充実をする。 【個に応じた作業環境作り】(家庭) ・生徒の状況に応じた題材を選び、作業内容を順序立て進めるようにする。